

自己点検・評価報告書

平成 26 年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

函館工業高等専門学校

平成 27 年 5 月

自己点検・評価報告書

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

現行規程には、報告書の提出、教育訓練の実施、自己点検書の公開及び緊急時の対応計画の策定義務の条文が無いため、規程の整備等により改善する必要がある。

4) 改善の方針

基本指針に沿った規程改正及び制定をすると併に規程が整備されるまでは、基本方針を満たさない事項を生命倫理審査委員会が主導して実施する。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程、生命倫理審査委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針に適合する動物実験委員会として生命倫理審査委員会が置かれている。

4) 改善の方針

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

現行規程には、報告書の提出、教育訓練の実施、自己点検書の公開及び緊急時の対応計画の策定義務の条文が無いため、規程の整備等により改善する必要がある。

4) 改善の方針

基本指針に沿った規程改正及び制定をすると併に規程が整備されるまでは、基本方針を満たさない事項を生命倫理審査委員会が主導して実施する。

自己点検・評価報告書

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

4) 改善の方針

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程、生命倫理審査申請書、生命倫理審査委員会審査基準

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合した飼養保管施設となっている。

4) 改善の方針

該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当せず。

自己点検・評価報告書

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程、生命倫理審査委員会議事要旨
会議開催：4回

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程に基づき適正な委員会活動を実施している。また、平成26年度中に報告書の提出をさせ教育訓練を実施した。更に平成27年4月1日から施行する函館工業高等専門学校生命倫理審査委員会規程の改正及び函館工業高等専門学校動物実験実施規程を制定して基本方針に適合する体制を築いた。

4) 改善の方針

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験者から提出された書類（生命倫理審査申請書、動物実験結果報告書）及び生命倫理審査委員会議事要旨

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

生命倫理審査申請書の立案、審査、承認、結果報告は遅滞なく適正に実施されている。

4) 改善の方針

該当せず。

自己点検・評価報告書

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

4) 改善の方針

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験者から提出された書類（生命倫理審査申請書、動物実験結果報告書）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

飼養保管が適正に行われている。

4) 改善の方針

該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験者から提出された書類（生命倫理審査申請書、動物実験結果報告書）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

施設等維持管理の状況に問題はない。

4) 改善の方針

該当せず。

自己点検・評価報告書

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験実施者等教育訓練出席予定者名簿（北海道大学函館キャンパス開催）、実験者から提出された書類（生命倫理審査申請書、動物実験結果報告書）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

生命倫理審査委員会委員、実験希望者（教員、学生）を対象に教育訓練を実施したが、受講できなかった者への対応が十分でない。

4) 改善の方針

動物実験実施者等教育訓練を受講した生命倫理審査委員が、未受講者に教育訓練を実施する機会を増やす。

7. 自己点検・評価、情報公開

基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

函館工業高等専門学校ホームページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験関連規程、委員会活動などについては、ホームページで公開しているが、自己点検・評価の実施は規定されていなかったため、平成25年度以前は実施していない。

4) 改善の方針

平成26年度以降は自己点検・評価を実施し、速やかに自己点検・評価報告書をホームページへ掲載して公開する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当せず。